

令和6年度第1回地域医療構想調整会議議題への主な課題（要旨）

1 現状の高齢者救急への対応状況について		
①	池田町 矢口町長	・北アルプス広域南部消防署では人員不足により消防車両が出勤時は救急車は同時に出動できない現状がある。広域消防全体で人員割り振りの等を検討していただき、迅速な救急体制の確立を推進してほしい。
②	小谷村 中村村長	・高齢者に限らず小谷村からの救急は、大町病院の受入れで30分から1時間かかってしまい、患者の容体が急変し命を脅かされる恐れがある。
③	小谷村診療所 中井所長	・患者側が我慢してしまっている傾向があるように感じる。救急車を呼ぶのに気後れするようなら、医療機関や消防署などに相談だけでもしてもらえよう周知できないか。
④	大北歯科医師会 飯沢会長	・救急搬送後の帰宅など、入院とならなかった場合の交通インフラが不十分ではないか。

2 今後を見据えた高齢者救急への体制について		
①	池田町 矢口町長	・救急搬送件数の伸びも増えることなども考えると早急に救命救急士資格所を1チームに複数名配置していくことが重要となると思う。松本広域消防では1チームに複数名配置をしていると聞いている。
②	小谷村 中村村長	・神城医院での受け入れ体制を検討願いたい。
③	北アルプス医療センターあづみ病院 松田統括院長	・医療機関同士の連携体制については、大北医療圏内の、今後の医療提供体制や医療ニーズに沿った、医療機能分化の調整が必要となると思われる。
④	小谷村診療所 中井所長	・緊急時に救急車に準ずる移送サービスを自治体で用意しておき、救急隊と連携をとってリレー搬送みたいな事ができればと思う。